


所在地：	東京都八王子市石川町2969-2		
敷地面積：	42438㎡	延床面積： 29811㎡	
設立：	1964年11月	従業員数： 550名	
ISO14001取得：	1997年1月	ISO14001最新更新： 2009年7月	
主要製品：	業務用監視用機器、業務用オーディオ機器、業務用ビデオ機器、業務用放送通信機器		
環境コミュニケーション：	08年度		
情報開示：	1件	工場見学： 0名	地域貢献活動： 1件
問合せ：	日本ビクター 人事総務部 八王子グループ		TEL： 042-660-7206

ごあいさつ

OA機器などの先端企業が多く立地する産業都市として、また、多くの大学群を擁する学園都市として発展し続けている東京都八王子市の「石川工業団地」内に当サイトはあります。1965年より操業を開始して以来、一貫して業務用機器を官公庁や企業をはじめとした多くのお客様へ提供してまいりました。環境改善活動を推進する仕組みとして環境マネジメントシステム構築に早くから取り組み、1997年1月に日本ビクターの事業所として初めてISO14001の認証を取得し、現在は工場内の環境負荷低減はもとより、環境改善の取り組みとして、製品の環境負荷低減に積極的に取り組み、弊社製品をお使い頂いているお客様の環境負荷低減に繋がる活動に展開しています。



吹田 隆

2008年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
・環境負荷低減型の商品開発として、環境に負荷を与える化学物質を含有しない商品を開発します。	・環境負荷低減型の商品開発として、環境に負荷を与える化学物質を含有しない商品開発システムの体制を強化しました。
・環境負荷低減型の商品開発として、商品のCO2排出量を2000年度比20%削減します。	・CO2排出量73.3%削減により目標を達成しました。
・省エネルギーの活動として、電力使用量を2000年度比21.5%削減します。	・電力使用量を2000年度比36.9%削減し目標を達成する事が出来ました。

製品・環境配慮ポイントの紹介

デジタルパワーアンプ
EM-A842/822D (320W/160W)

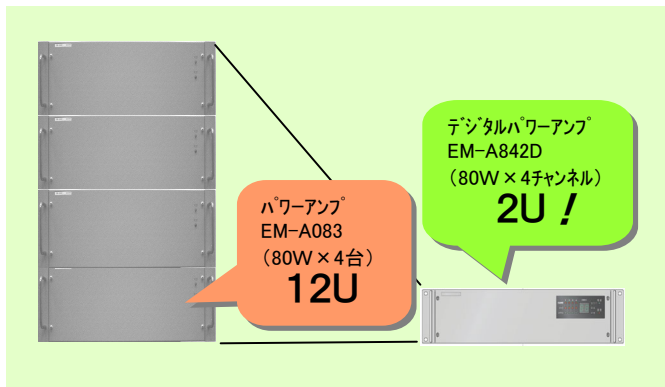


<テクニカルポイント>

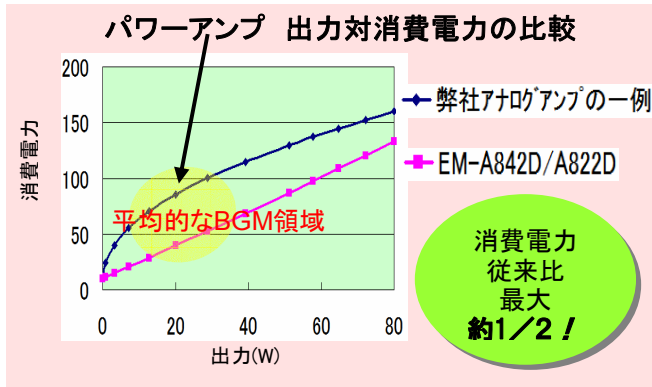
- 省スペース
 - ・低発熱によるヒートシンク小型化
 - ・基板面積縮小
- 省電力
 - ・ブリッジ方式による増幅効率向上
 - ・高効率スイッチング電源

財団法人家電製品協会のホームページの製品アセスメント事例集に掲載されました

● 抜群のスペース効率, 従来比1/6!



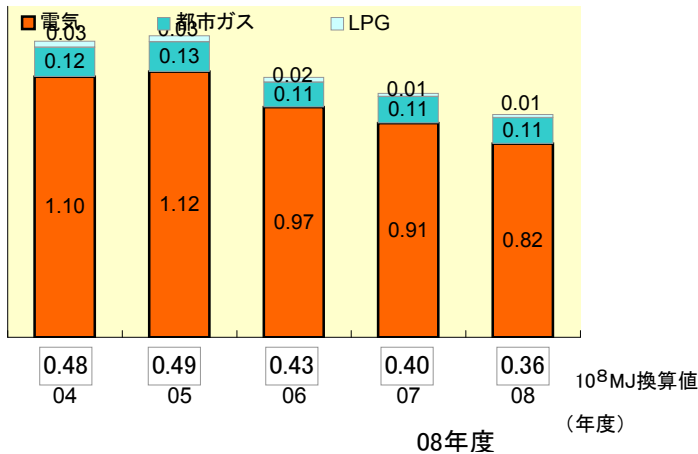
● BGM放送の消費電力半減



環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2008:2008年4月1日~2009年3月31日

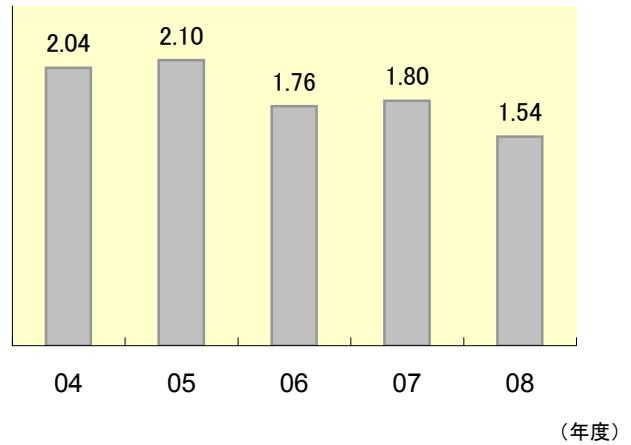
エネルギー使用量

単位:千kl



CO2排出量

単位:千t

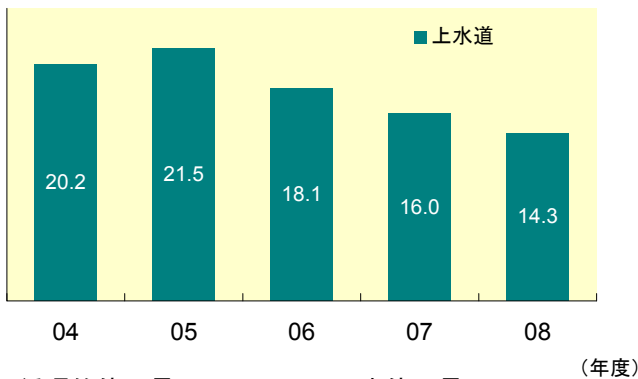


算出基準について

電力:電事連公表の換算値使用、2008年度は0.417kgCO2/kwh(1990年度)で代用、都市ガス:2.359kgCO2/m3、LPガス:302kgCO2/kgで算出

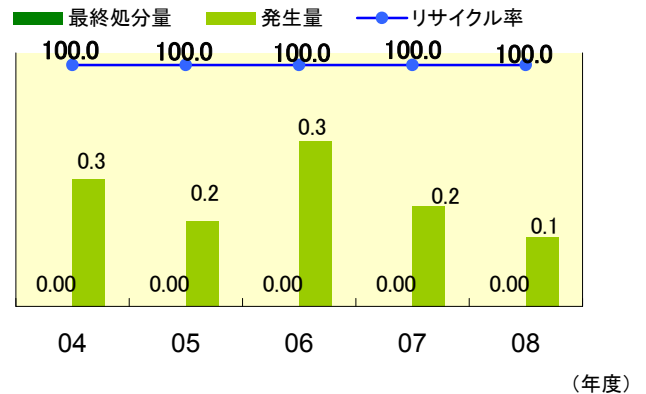
水の使用量

単位:千m³



産業廃棄物・有価発生物

単位:千t、%



循環的使用量

雨水使用量

08年度

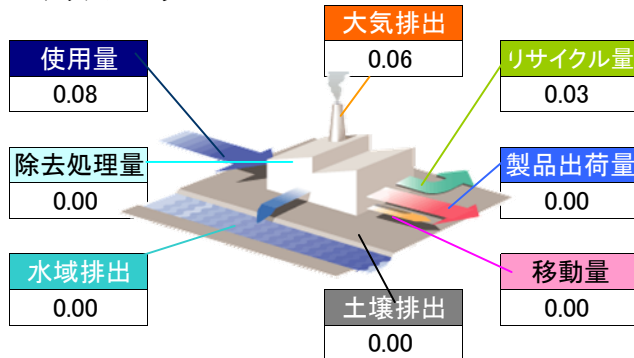
0.00 m³ 0.00 m³

化学物質

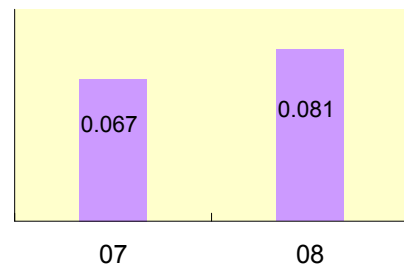
単位:t

マテリアルバランス

08年度



重点削減物質 排出・移動量



重点削減物質=PRTR法、VOC(大気汚染防止法)、GHG(地球温暖化対策法)の中で、環境影響の大きいとされる物質を指定。(電気・電子業界での使用実績の大きいものなど 約60物質群)

環境パフォーマンスデータの特記事項

2008年度は、エネルギーの削減として、電力削減に取り組み、CO2排出を大幅に削減することが出来ました。また、廃棄物についても総排出量も削減できリサイクル100%を継続しました。化学物質については、IPAの使用量が微増しました。

環境法令等の順法状況 08年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm3/h	N/A			0.00		
		-			0.00		
		-			0.00		
NOx	ppm	N/A			0.00		
		-			0.00		
		-			0.00		
ばいじん	g/Nm3	N/A			0.00		
		-			0.00		
		-			0.00		

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A			0.00		
		-			0.00		
		-			0.00		
BOD	mg/l	N/A			0.00		
		-			0.00		
		-			0.00		
窒素	mg/l	N/A			0.00		
		-			0.00		
		-			0.00		
リン	mg/l	N/A			0.00		
		-			0.00		
		-			0.00		

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 工場敷地境界	70.00	65.00	62.00	63.20	年1回
		夜 工場敷地境界	55.00	55.00	51.30	51.30	年1回
振動	dB	昼 -			0.00		
		夜 -			0.00		

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません	-
-	-
-	-

環境方針

＜基本理念＞

日本ビクター八王子地区は経営基本スローガンのもと、すべての事業活動において『地球環境の改善』に取り組み、国際社会から信頼される「良き企業市民」として持続的発展が可能な社会の実現に向かって努力します。

＜方針＞

広く環境の改善は企業の社会的責任であることを深く認識し、音響・映像・情報機器を中心とした業務用システム機器の開発・設計・製造及びシステム設計を主とした事業活動において、環境改善及び汚染予防活動を次により推進します。

1. 製品・サービスを含めた事業活動により生ずる環境影響を常に考慮し、環境目的及び目標を設定し定期的に見直しを行い、環境負荷の継続的な低減を図ります。
2. 地区の環境側面に関係して適用可能な法規制及びその他の要求事項を順守し、必要に応じ自主基準を設定し、管理の質の向上に努めます。
3. 環境改善活動を推進するための組織・体制を常に整備し、環境監査を実施することにより活動の継続的向上を図ります。
4. 従業員の環境に関する意識を高め、全員で環境の改善に取り組みます。
5. 地区として以下の項目に環境目的・目標を設定し、継続的改善活動に重点的に取り組みます。
 - 1) 環境汚染防止のため、環境負荷化学物質の管理体制を推進します
 - 2) 環境負荷低減型の商品開発を進めます。
 - 3) 地球温暖化防止のため、省エネルギー活動として電力の削減を図ります。
 - 4) 地球資源の有効活用のため、廃棄物の総排出量の削減を図ります。
 - 5) 当地区の事業活動などに協力を得ている取引先、また国内の関連会社に対しても本方針への理解を求め、協力して環境改善及び汚染の予防を推進します。

環境負荷削減の取り組み事例

バス便の見直し
軽油1,021ℓ削減



必要以上に明るい箇所の蛍光灯間引き(319本)
電力56,400kw削減



遮熱塗装による冷房電力の削減
電力 1,263 kwh削減



環境コミュニケーション事例

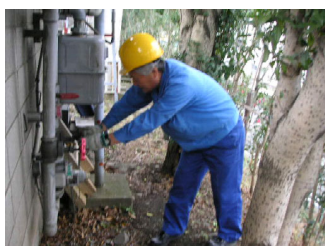
工場周辺の清掃
工場周辺の草やゴミ等の清掃を行い、美化に勤めています。



緊急事態への準備と対応

緊急事態の考え方と対応訓練

緊急事態の発生の可能性、発生時の環境への負荷度合い等の条件により、緊急事態への対応が必要な項目を定めています。緊急事態については、対応マニュアルを作成し、年1回の訓練を計画的に実施しています。現在、八王子工場で緊急事態として考えられている項目は、LPG供給施設からのガス漏れと、基板の製造工程で使用されているIPA漏出の2項目です。これらについて対応訓練を実施し、万一の場合の準備を行なっています。



ガス漏れ対応訓練



IPA漏出訓練